



西城町の風景を描く

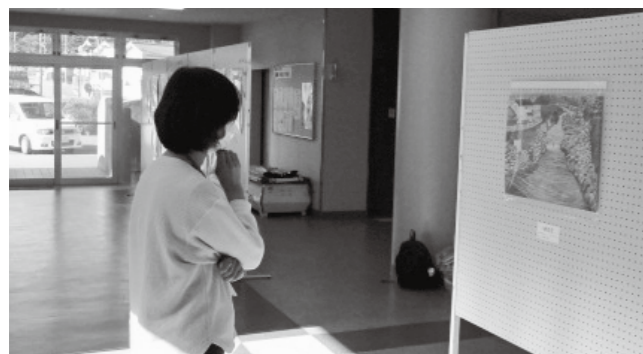
写生大会・10/21

No.5

第73回近県写生大会ならびに第26回妹尾賞写生大会が、西城町内で開催され、町内の小・中学生152人から作品が提出されました。

本大会は西城町の風景をテーマに行われ、西城川や、町内にあるお寺の風景など、子どもたちの力作が出そろいました。また入選以上の作品は、西城温水プール「水夢」の1階ホールで展示され、来場者は色鮮やかな作品を見て、楽しんでいました。

作品を鑑賞した人は「子どもたち目線の西城町が見えて、おもしろかった」「妹尾賞（最優秀賞）に選ばれた作品は、繊細に描かれていて、水の影の表現などが上手だった」と話しました。



▲作品を鑑賞する来場者

紅葉の高野を駆ける

第40回高野町健康マラソン大会・11/6

No.7

庄原市スポーツ協会高野支部が主催するマラソン大会が3年ぶりに開催され、保育園児から一般までの16人が参加しました。

周りの山々が紅葉し青空が広がったこの日、参加者は年齢別の3部門に分かれ、上高自治振興センターを起終点に周辺の道路を1周または2周走る、1～2キロのコースを一生懸命駆け抜けました。

アップダウンもあるコースでしたが、参加者全員が完走することができました。

スポーツ協会高野支部陸上部の牧原真吾部長は、「久々に開催できて良かった。これからも多くの人に参加してもらい、大会を続けていきたい」と話しました。



▲元気にスタートする保育所・小学校低学年の部参加者

子どもたちへの贈り物

絵本や図鑑の寄贈・10/28

No.4

公益財団法人浦上奨学会から、市内の保育所や幼稚園、子育て支援センターに、大型絵本や図鑑などが寄贈されました。同会はリョービ株式会社創業者の「向学の意欲に燃える若者たちを支援したい」という願いから設立された団体で「未就学児童の豊かな人間形成」を願い、令和元年から毎年寄贈されています。

寄贈された絵本は、各施設で大切に使用し、子どもたちの想像力、思考力、知的好奇心などを育むため活用されています。

本を受け取った七塚保育所の長井しのぶ所長は「いろんな絵本に出会い、心豊かな子どもに育ってほしい」とうれしそうに話しました。



▲寄贈された絵本で読み聞かせ ▲支援センターで本の貸し出し

楽しみながら体を動かす

アクティブ・チャイルド・プログラム・11/1

No.6

総領小学校全校児童33人が、里山総領体育館で、アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）の指導を受けました。ACPとは、日本スポーツ協会が開発した、子どもの発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムです。

児童は、ACPインストラクターの岩崎真由美さんの指導のもと、腕を組んだ人をダイコンに見立てて体を引っ張り抜く「大根抜き」というゲームなどを楽しみながら、体を動かすことや多様な動きを身に付けることの重要性を学びました。

体験した児童は「いろいろな遊びがあって楽しかった。こんなに体のいろいろな部分を使ったのは初めてだった」と喜んでいました。



▲夢中で大根抜きにチャレンジする児童

自分の力で化石を発見！

化石の発掘体験・11/12

No.1

比和自然科学博物館で、化石発掘体験講座が行われ、市内外から29人が参加しました。

参加者は、午前中に市内の発掘現場に集まり、ハンマーなどを使いながら、たくさんの岩石の中から化石を探しました。

その後、比和自然科学博物館へ移動し、発掘した化石に付いた余分な岩石や泥などを丁寧に落とし、仕上げを行いました。

発掘されたのは、ウニやホタテ、巻貝、植物などの化石で、参加者は自分の力で見つけた化石を、うれしそうに見せ合っていました。

市外から参加した佐々木皓大君は「現地の発掘作業が特に楽しかった。一番欲しかったサメの歯を見つけられなかったのは残念だったけれど、いろいろな化石をたくさん見つけることができうれしかった」と満足そうに話しました。



▲市内で発掘作業



▲見つかった貝の化石



▲余分な岩石などを落とす仕上げ作業



▲標本にした化石を手取る参加者

ボランティアで街をきれいに

市役所駐車場でのボランティア活動・11/16

No.3

庄原市シルバー人材センターの会員が、地区別に班を設けて、市内各地の草取りや清掃活動を行いました。

当日は、庄原地区班の14人が、時折雨の降る中、市役所本庁舎駐車場の花壇の草取りや、春に向けてパンジーと夏の花の植え替えを行いました。

参加した会員は「季節の花を植えることで、市役所回りが少しでも華やかになり、市役所を訪れる人が気持ちよく利用できればうれしい」と話し、精力的に取り組んでいました。

作業をしていただいた会員の皆さん、ありがとうございました。



▲活動に参加した会員の皆さん

本を楽しむイベント

くちわ図書館まつり・10/22～23

No.2

口和自治振興区と口和本の会が、「本」と「読書」をテーマにした「くちわ図書館まつり」を開催しました。当日はマスキングテープやシールを使って作成する「本のしおり作り体験」をはじめ、本の紹介コーナーやリサイクルコーナーもあり、日頃図書館を利用しない人も久しぶりの読書を楽しんでいました。

また、来場者には「読書手帳」がプレゼントされました。この読書手帳は、利用者からの「これまで読んだ本が何だったか忘れて困るんよ」という体験を基に、口和分館が独自に作成したもので、読んだ本の題名・著者・読んだ日などを100冊分記入することができます。

口和本の会の会員は「これからも、皆さんがわくわくするイベントを計画したい」と話しました。



▲来場者に配布された読書手帳



▲本のしおり作りを体験